キャラクター名
斉藤　義男（さいとう　よしお）

プレイヤー名

シンドローム	バロール バロール	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	喫茶店店主
オプショナル		年齢	40	性別	男
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	30 %
出自	親戚と疎遠	経験	UGNへの恐怖	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	4	0	0			4
社会	2	0	0			2

HP	26
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	5		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インサイト：オーバーロード	ＲＣ	9r+5		0		1.2.4　侵蝕値6　C値7　次の攻撃+9Dダメージ
100	ＲＣ	13r+5		0		次の攻撃+10Ｄダメージ
インサイト：フリーズクロック						3　100制限

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：警察官	
コネ：UGN幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
エリート一族な親戚	P　懐旧	N 劣等感		
ローザ・バスカヴィル	P　尽力	N　恐怖		
触媒	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　6	残り財産P：　4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：バロール	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：Ｃ値を-ＬＶする（下限値７）								
死神の瞳	7	3	メジャー	視界	単体	対決	ー	
効果：命中後、次の攻撃に［+LV+2］Dダメージ								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動成功	↑100	
効果：判定を自動失敗　シナリオ1回								
紡ぎの魔眼	5	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果：ダイス+LV個　Ｒ１回								
ポケットディメンジョン	1		メジャー					
効果：ありえない空間を作る。　ローザとの秘密連絡用の空間もこれで作っている								
吸着	1		常時					
効果：物を落ちないように持つことができる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

（主要な設定）
ローザの指示のもと、UGN日本支部に支部長（補欠）として潜入している男。今はUGNの外部協力組織「グロッグ」のメイド喫茶へ店長として出向中。
相手に様々な影響を与える「魔眼」を使って戦闘支援を行う。
うだつの上がらない中年。中間管理職。でも仕事は多少できるおじさん。でも自己評価は低評価なおじさん。悲しいおじさん。

（詳細設定）
彼自身はうだつの上がらない中年である。中年なのに一地域の支部長（補欠）どまり。
年下のエージェントや支部長に侮られることなどしょっちゅうである。

それでも一応は支部長なので支部長室は持っている。ただし、UGN支部の中ではなく、その近くの「喫茶店」にだが。
これはローザにUGN支部内に部屋を用意してもらえず、UGNの外部協力組織「グロッグ」のメイド喫茶へUGNから出向させられたためである。
メイド喫茶の店長？おじさんが？そんなぁ・・・。と思ってる。でもローザの命令なので我慢している。
内心では憧れていた喫茶店経営ができるのでちょっと楽しいと思っている。
PL的には喫茶店がPC達の集まる場所の候補の一つになったらいいなと思ってます。

彼の一族は全員が本部エージェントとしてUGNの要職についている。
他の化け物じみた親戚や兄弟と比較すると、彼はそこまで抜きんでてはいなかったため低く見られている。
それが彼の自己評価の低さにも繋がっている。
中年にもなった今では一族の恥さらし扱いである。

彼は実は日本支部の動向を監査するローザの部下の一人である。自分の担当する地域で起きた事件や霧谷の動向を彼女に秘密裏に報告している。
本部エージェントになる能力はないが、エリート一族の一人としてただのエージェントになることは許されなかった彼は